

議題 1

平成26年1月17日
青少年育成部育成課

平成26年広島市成人祭の開催結果について（報告）

1 開催結果概要

(1) 日時

平成26年（2014年）1月13日（月・祝）
11:30～14:00

(2) 場所

広島サンプラザほか（西区商工センター三丁目）

(3) 主催

広島市、広島市教育委員会、広島市選挙管理委員会

(4) 対象

平成5年（1993年）4月2日から平成6年（1994年）4月1日までに生まれた広島市民（広島市の住民基本台帳に記録されている人）11,801人（男性5,993人、女性5,808人）

(5) テーマ

「飛翔～夢に向かって～」

(6) 内容

ア アトラクション＜ホール＞

太鼓パフォーマンス（広島工業大学・鼓遊会）、音楽ライブ（ケイマトビ）

イ 成人式（式典）＜ホール＞

国歌斉唱（広島文化学園大学生）、記念品贈呈（広島市立大学芸術学部作成オリジナルクリアファイル）、市長式辞、市議会議長祝辞、参列者紹介、新成人宣誓、三本締め

ウ その他

同窓会コーナー、模擬投票体験コーナー、成人祭手提げ紙袋引換コーナー、新成人祝福・激励着付け直しコーナー

(7) 参加者数

7,000人（前年比+200人）



開場前から集まる新成人

2 平成26年成人祭の振り返り

(1) 入場

アトラクションの開始時刻を例年より30分遅くすると同時に、開場からアトラクション開始までの時間を従来の15分間から30分間としたことにより、新成人が余裕を持って案内はがきと記念品の引換えを済ませて、ホールへ入場することができた。



案内はがき引換え

(2) アトラクション

アトラクション開始時には、多くの新成人が入場を済ませ、ホールに着席した状態でアトラクションをスタートすることができ、出演者も新成人も落ち着いた雰囲気の中で演奏を楽しむことができた。



太鼓パフォーマンス

(3) 成人式（式典）

アトラクションから成人式に場面転換する際の「間」を十分確保す

るとともに、開式を知らせるチャイムを効果的に使用したことにより、にぎやかなアトラクション後の余韻を鎮め、雰囲気切り換えて、厳粛な雰囲気の中に成人式をスタートさせることができた。

また、運営ボランティアが、前の方から着席してもらおう呼びかけや、「お静かに」と書いた注意書きを適宜掲げるなど会場案内整理に当たったことにより、新成人の立ち見や私語が昨年より減少し、より厳粛な式典とすることができた。

今年初めての試みとして行った参列者紹介と三本締めは好評だった(特に三本締めは高評価を得た)。



新成人宣誓

(4) 同窓会コーナー

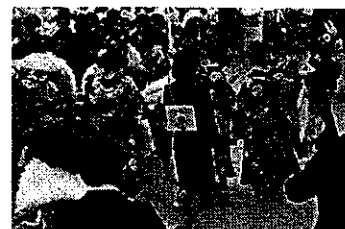
中学生時代の先生方が教え子である新成人への祝意を綴った「恩師からのメッセージ」のコーナーは、去年の53校を上回る61校からメッセージが寄せられ、多くの新成人が母校のメッセージを見つけようと熱心に見て回っていた。また、新たな試みとして「シャッター押します隊」と称して運営ボランティア8人が新成人の求めに応じて記念撮影をお手伝いするサービスを行ったところ、新成人から大変喜ばれた。



恩師からのメッセージ

(5) ボランティア

運営ボランティア(23名)、井口中学校の生徒(33名)、留学生(5名)を合わせ総勢61名のボランティアが、ホール内での新成人の誘導や、「シャッター押します隊」の実施、車いすの新成人のサポート、案内はがきと成人祭手提げ袋との引換えなど、さまざまな場面で活躍し、手づくり感あふれる、温かみのある成人祭を演出することができた。



シャッター押します隊